

【名称】リサイクル発電装置

【実用新案】 登録第3068180号

【**新技術**】温暖化の原因として、(1)二酸化炭素の排出、(2)エアコン室外機などにより、直接「空気」の温度を上昇させる、そして、(3)原発核分裂による熱エネルギーの発生、及び冷却システムによる、「海水」温の上昇です。つまり、地球上で新たに作り出した熱エネルギーを捨てるのではなく、効果的に再利用する発電システムです。

【**従来技術**】エネルギー問題は重要であり、特に、温暖化対策との関連で重要です。

温暖化とは、「第一」に、二酸化炭素の排出によるオゾン層破壊によるもの、「第二」に、エアコン室外機などによる、空気を温める、「第三」として、海水を直接温めるケースとなります。この3つのケースの温暖化対策が必要です。原子力発電は繋ぎとしての発電システムとしては必要ですが、原発は地球上で無から熱エネルギーを作り、その冷却システムとして海水を使用する場合、「空気」と「水」を直接温めるものであり、この熱量の試算も重要です。

熱エネルギーは温暖化と言う観点から、出来る限り押さえた方が良いわけですが、地球上での発電システムにより発生した熱エネルギーを再利用可能であれば、つまりリサイクルできれば、多少なりとも、温暖化防止に貢献可能と思います。

【実用新案】

名称 リサイクル発電装置

実用新案 第3068180号

【A】インターネット検索

1. 「特許・実用新案検索-特許電子図書館IPDL」入力 → 検索 → クリック
2. [1] 特許・実用新案公報DB → クリック
3. 「文献種別」-「U」「文献番号」-「3068180」入力
「文献番号照会」→クリック
4. 「実登3068180」→クリック

【ドイツ関連実用新案紹介】

名称 リサイクル発電装置

ドイツ実用新案 第20012604.0